



三条市立森町小学校 学校便り

令和2年7月27日

森小っ子

令和2年度
第4号

教育目標 「進んでやりぬく、たくましい子ども」

※森町小HPのURLは、<https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/morimatisyo/>



「思ったより車いすは難しいなあ！」
(7/22 3年生 車いす体験より)

新しい生活様式の中、特別な夏休みを元気に過ごそう！

校長 佐野 正俊

今週末で7月が終わり、70日間（1年生は69日間）の1学期が終了します。

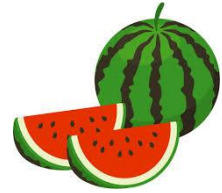
思い返せば、昨年度末からの新型コロナウイルス感染防止のため、日本中の学校は、誰もこれまで経験したことのない異例づくめの1学期を送らなくてはなりませんでした。

三条市の小・中学校も、4月22日から5月10日までの間、市内一斉に臨時休業を行いました。そのため、夏休みも随分と短くなりました。例年なら、運動会や6年生の修学旅行も今頃は楽しい思い出になっていたはずなのに、今年は延期になっています。さらに、手洗いの励行、マスクの着用、3つの密を避ける等の、「新しい生活用様式」が学校生活の日常となり、暑い日でも子どもたちはよくきまりを守って学校生活を送っていました。当たり前になれたことが当たり前にならず、随分と制約の多い学校生活になったはずですが。そんな中、全校のリーダーとして、率先してできることを考え、1年生と一緒に遊ぶ6年生の姿見ながら大いに頼もしさを覚えました。

できないことを嘆くよりも、できることを考え工夫する。その姿勢は、少し大げさですが、人生で困難に遭遇しても、きっと挫けず乗り越えていく力に繋がるはずです。このような我慢の必要な時だからこそ、不自由を乗り越える、逆境に負けない心（レジリエンス）を磨いてほしいと思うのです。

さて、いよいよ夏休みが始まります。感染症が心配で、いつもの年のように過ごせないかと思いますが、家族でよく相談しながら、今年の夏休みにしかできないことに取り組み、素晴らしい思い出を作りたいと思います。森小のみんなが、元気に楽しく夏休みを過ごしてくれることを願っています。

今月の森小ニュース



◇6/25 お話コロリン読み聞かせ(1・3・5年生)

お話コロリンの皆さんから読み聞かせをしていただきました。例年、低・中・高学年に分かれてお話を聞くのですが、今年は、密を避けるために、今年は1・3・5年生だけお話を聞きました。2・4・6年生の子どもたちは、秋に読み聞かせをして頂く予定です。

お話コロリンの皆さんは、いつも楽しいお話や面白いお話を見つけて、読んでくださいます。そのため、子どもたちはいつのまにかお話の世界に引き込まれていきます。これをきっかけに、森小っ子は、どんどん本好きになってほしいと思います。



真剣にお話を聞く5年生

◇6/26 食育担当者学校訪問



いつも給食を作ってくださる下田調理場の伊佐栄養士さんが、食育指導のため来校されました。給食時間、食堂で子どもたちに、バランスのとれた栄養摂取の重要性やよくかんで食べることの大切さなどについてのお話がありました。ご家庭でも、好き嫌いせず、よくかんで食べるようお声がけください。

6/30 地域懇談会

保護者の皆様、各自治会長様、民生委員児童委員様、八木駐在所長様からお越しいただき、地域懇談会を行いました。3密を避けるため、一堂に集まらず、すぐに地域ごとに各教室に分散しました。例年より短い夏休みですが、地域の子どもの健全育成のため、ご協力をお願いいたします。



◇7/1 小柳敦子スクールアシスタントが着任！



スクールアシスタント 小柳 敦子

7月1日からお世話になっています。子どもたちの笑顔、歓声、真剣なまなざし、…。たくさんの元気をもらっています。子どもたちが元気いっぱい活動できるよう、お手伝いしたいと思います。よろしくお願いします。

◇7/9 3年生 山田学級研究授業

今年度2回目の研究授業がありました。山田教諭が、算数「表とグラフ」の指導を行いました。グラフの目盛りを2とびにするか、目盛りを1にしてグラフを2列にするかで、子どもたちの話し合いは白熱したものになりました。授業終了時には、「まだやりたかった。」「もう少し考えたい。」という声が聞かれ、子どもたちの意欲的な学びの姿が見られました。



授業に集中する3年生！

◇7/10 民生委員児童委員との懇談会



10日、学区の民生委員児童委員の方々と懇談会を行いました。先日の地域懇談会で決定した地区行事のこと、各地域の危険箇所、子どもたちのあいさつの様子等について情報共有させていただきました。夏休み中、自治会長の皆様と同様に、「地域の目」として森小の子どもたちを見守っていただきたいと思います。

◇ 7/22 社会福祉体験(3年生)



おもりで歩きにくいなあ！



ゴーグルをして買い物体験



車椅子で進むのは大変です

新型コロナウイルス感染防止のため、例年3年生が総合的学習の時間に実施していた「いっぷく」への訪問ができなくなりました。そのため、活動の順序を入れ替え、市社会福祉協議会の方々のご協力で、社会福祉体験をさせていただきました。担当者の方から指導を受けたあと、子どもたちは手首と足首におもり、聞こえにくいようにイヤホン、見えにくいようにゴーグルを装着し、腰を曲げながらすっきり80才になったつもりで階段を上ったり買い物体験をしたりして、その大変さを実感していました。そのほか、車椅子体験や、パラリンピックの正式種目のボッチャの体験もしました。

7月は「夢 創造 ナビゲーション月間」です！

県教委では、ふるさとへの愛着や誇りと、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育成することを目指したキャリア教育を推進しています。そして、7月を「夢創造ナビゲーション月間」と定めています。森町小学校でも、今月はキャリア教育月間として取組を実施しています。7月の全校朝会では、子どもたちのなりたい職業の話、憧れのプロスポーツ選手の話、そして郷土の偉人の諸橋轍次博士や名下出身の長谷川半平の話をしました。小学校の段階から、子ども自身が将来について考えることはとても重要です。是非、夏休みには、ご家族でお子さんの生き方や将来について話し合ってみましょう。